

海外安全対策情報（平成30年度第1四半期）

1 アグン山の警戒情報

6月下旬、アグン山噴火に伴いデンパサール国際空港が一時的に閉鎖されました。アグン山の噴火の状況によっては今後も当地発着の航空便が影響を受けることも考えられます。アグン山の噴火警戒レベルはレベル3（警戒）から変更はありませんが、今後もアグン山の状況を注視するとともに、引き続き関連最新情報の入手に努めてください。

2 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向（インドネシア国内情勢）

5月13日及び14日、東ジャワ州スラバヤ市内の教会及び警察署において死傷者を伴う自爆テロ事件が発生しました。また16日にはリアウ州警察本部に対する襲撃事件も発生する等インドネシア各地でテロ関連事案が多発しています。その後、インドネシア警察は各地でテロ容疑者を逮捕するなどテロの疑いのある動きに対して引き続き厳重な警戒態勢を敷いていますが、テロはどこでも発生する可能性があります。引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、テロの標的となりやすい場所（政府・警察関係施設、宗教関連施設、ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

（2）統一地方首長選挙

6月27日（水）にはインドネシア全土で統一地方首長選挙の投票日であり、バリ州、西ヌサ・トゥンガラ州及び東ヌサ・トゥンガラ州においても州知事他首長選挙の投票が実施されました。

（3）高波に警戒

当地気象庁からは、バリ島南海域において引き続き高波の警報が発出されています。海でのレジャーの際には波、天候の急変等に十分注意してください。

（4）デング熱

バリ島内におけるデング熱罹患者は依然発生しており、引き続き注意が必要です。デング熱には予防接種も予防薬もないため防蚊対策を徹底し感染の予防に努めてください。なお、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

（5）麻薬・薬物への注意

治安当局は薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでおり、当地裁判所も外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しています。薬物に安易に手を出すと取り返しのつかな

い結果を招きます。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。

3 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪傾向

○ クタ地区ムラスティ通りにて、男性旅行者が白人とみられる者により財布から現金を抜き取られるという事案が報告されています。男性旅行者数名が通りを歩いていると、子供を連れた白人夫婦から日本円を見せて欲しいと話し掛けられ、日本円、ドル等が入った財布を取り出し中身を見せたところ、その後財布の中から現金がなくなっていることに気が付いたというものです。なお、類似の事件が本年2月に空港構内でも発生が報告されています。見知らぬ者から突如声を掛けられたり唐突な依頼をされたりした場合は十分注意し、相手方の言動等に惑わされることなくその場から離れるなどしてください。

○ クタ地区においてスマートフォン窃盗に関する報告が多く寄せられました。実例としては、深夜、邦人旅行者が宿泊ホテルを探していると、オートバイに乗った者がホテルまで送って行くと言ったので、地図アプリを開いた状態でスマートフォンを渡し後部座席に乗り、しばらく走行した後に運転者がわざと路上に荷物を落とし、旅行者がそれを拾おうとした際に、スマートフォンを持ち去られるというものです。また、別の事例では、スマートフォンで地図アプリを見るふりをしてつつ巧妙に外カバーだけを地面に落とし、拾わせる際にスマートフォンを持ち去るという事例も報告されています。

○ ングラライ国際空港の国際線・空港タクシー利用に関して、不当に高い料金を請求された、通常よりも遠回りをされた等、タクシー運転手とのトラブルに関する報告が多く寄せられました。空港タクシー配車カウンターには、目的地別に記載された料金表がありますので、それを確認するとともに支払いの領収書を必ず受け取ってください。なお、同タクシー協会では、悪質な運転手の情報提供を歓迎するとしていますので、トラブルに遭った際には、詳細な日時、運転手の氏名、ID、番号等を記録の上、タクシー協会に通報することもご検討ください。

【Koperasi Taxi Ngurah Rai 0361-721250】

○ 観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙った「ひったくり」「集団スリ」といった盗難被害が引き続き発生しています。累次お知らせのとおり、深夜から早朝にかけての繁華街では、スリやひったくりといった犯罪が発生する可能性が格段に高まっており厳重な注意が必要です。また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが頻発していますので、このような被害に遭わないためにも、所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲の状況に十分警戒してください。

(2) 邦人被害事案

邦人に対する一般犯罪の事例については、月ごとに安全対策情報として総領事館ホームページに掲載しています。

4 テロ・爆弾事件発生状況

当館館内においてテロ・爆弾事件は発生していません。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の誘拐・脅迫事件は発生していません。

6 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

7 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は認知していません。

以上